

【質問】 大川内議員

福島町では9月に土谷棚田火祭りが開かれ、多くの観光客で盛り上がりがあります。土谷棚田火祭りなどのイベントは、対外的にどのようにPRしているのか教えてください。

また、土谷棚田火祭りの存続が厳しいという声も聞かれ、大変残念に思います。アジフライの聖地の効果を土谷棚田火祭りの存続や祭りに訪れる人の数を増やすことにつなげることはできないかと考えます。

そこで、土谷棚田火祭りをアジフライバーガーの包み紙に印刷して紹介したり、市の他のイベントと関連付けて開催したりするなどの方法を考えますが、土谷棚田火祭りなどのイベントを存続し、活性化させるために、どのように考えているかをお聞かせください。

【答弁】 市長

土谷棚田火祭りは、地域の方が中心となって草刈りなどの環境整備から、当日の運営まで大変ご尽力いただいています。

地域の祭りを継続していくためには、若い皆さんの力が必要

になってきます。皆さんも、今後、土谷棚田火祭りを継続し、福島地域を活性化させるためにも、ぜひ地域の方と一緒に頑張って、協力していただきたいと思っています。

多くのの人に来ていただくことが、存続させる大事なことのひとつだと思いますので、他のイベントを併せてPRするなど、関連づけることは、とてもいいアイデアだと思います。

最近では、「アジフライの聖地 松浦」として、松浦市の知名度が向上しており、注目されている今がPRのチャンスだと思っています。ご提案の、アジフライを使った商品の包み紙に印刷してPRするというアイデアも一つの案として、PR方法を検討するとともに、実行委員さんと一緒に、各イベントが活性化する取り組みを考えていきたいと思っています。

ふるさと松浦をもっと住みよいまちにすることをともに考える決議

一般質問終了後、議案が上程され、前田議員が説明を行いました。採択の結果、全会一致で原案どおり可決されました。



▲調川小学校
前田璃空 議員

私たちは、これまで、社会科や総合的な学習の時間などで松浦市のことをたくさん学んできました。今回、「松浦市子ども議会」に参加し、松浦市の魅力や課題を改めて考えることができました。

各学校からの質問は、それぞれが学校や学級で話し合い、安全なまちづくりや郷土の歴史、特産品を生かした地域おこしや観光開発など、松浦市をもっと住みよいまちにしようとするための内容でした。

私たちのふるさと松浦は、自然が豊かで歴史と伝統のある素晴らしいまちです。

今後は、今回の貴重な経験を生かし、私たちのまちである松浦がもっと住みやすく、愛されるまちとなるために、進んで松浦のことを考え、自分たちにできることから取り組んでいきたいと思えます。以上、決議します。

子ども議会を通して感じたこと

子ども議会終了後、子ども議長、市長、教育長からいただいた感想を掲載します。



▲河野貴広 議長

調川小学校
・河野 貴広たかひろ 議長

子ども議会では、各小学校から出た意見や要望について、松浦市から答弁があり、松浦市が取り組んでいることや課題について学ぶことができました。

僕は、議長という仕事をして、議長の難しさや大変さを知りました。最初は、緊張や不安でいっぱいでしたが、議会に参加している人、見ている人、聞いている人が分かりやすく聞き取れるように、大きくはつきりとした言葉で、議会を進めることを心掛け、最後までやり遂げることができました。これからも松浦市のことを考え、松浦市が将来もっと住みやすいまちになつてほしいと思います。



友田 吉泰 市長

市内各小学校の代表が子ども議員となり、それぞれの学区の課題や市の将来について堂々と質問や提案をしてくれました。

食を活かしたまちづくりや安全安心なまちづくり、地域おこしなど、いずれも事前に松浦市の魅力や課題をしっかりと勉強した上で、学校や学級で話し合い、松浦市をもっと住みよくなり、松浦市のために必要なことを考えてくれたものばかりでした。私たち理事者も子ども議員の質問や提案を一つひとつ真剣に検討し、可能な限り前向きな答弁に心掛けたところです。

この機会を通して、今回参加した子ども議員だけでなく、各学校の児童たちが、ふるさと松浦のことをしっかりと学び、ふるさとをよりよくするために、自分たちで出来ることを一緒に考えてくれたことを大変うれし

く思っています。私たち理事者も子どもたちのその想いをしっかりと受け止め、大人になっても松浦に住み続けたいと実感できるまちづくりに向け、更に努力を続けていく所存です。



今西 誠司 教育長

子ども議員の皆さんは、「住みたい 住み続けたいまち 松浦」にするためにどうしたらいいかを一生懸命に考え、堂々と質問してくれました。内容も、自分が住む地域のことや、松浦市全体の中から課題を見つけ、自分なりの考えを述べながら、今以上に魅力のあるまちになるために大切なこと・必要なことを提案してくれました。実に立派でした。また、決議文には、松浦への思いと、まちづくりへの決意が込められており、胸が熱くなりました。今後、子ども議員の皆さんが提案してくれた貴重な意見をしっかりと受け止め、必要なこと、松浦市でできることについては、実現できるように努力していきます。



皆さんは、子ども議会をとおして、松浦市のよさや課題、市議会のことについて知ることができたと思います。また、この議場で質問をしたり、議長となつて会議を進めるなどの貴重な経験ができたことは、今後、大いに役立つものと思います。学校に戻ったら、今回、子ども議会で学んだことや経験したことを、周りの友達にしっかりと伝えてほしいと思います。松浦市の、そして日本の未来をつくるのは皆さんです。今後、松浦市だけではなく、日本や世界の出来事にも関心を持ち、自分にできることに進んで取り組み、さらに成長してくれることを楽しみにしています。